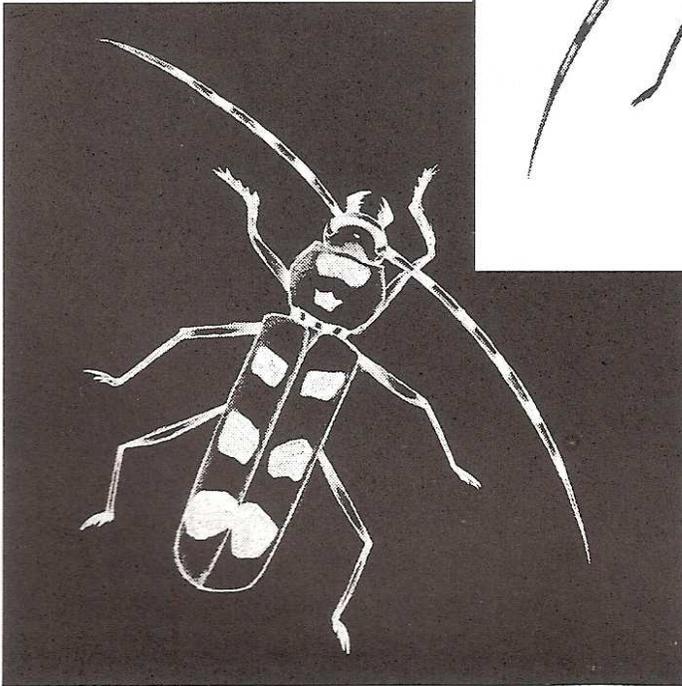
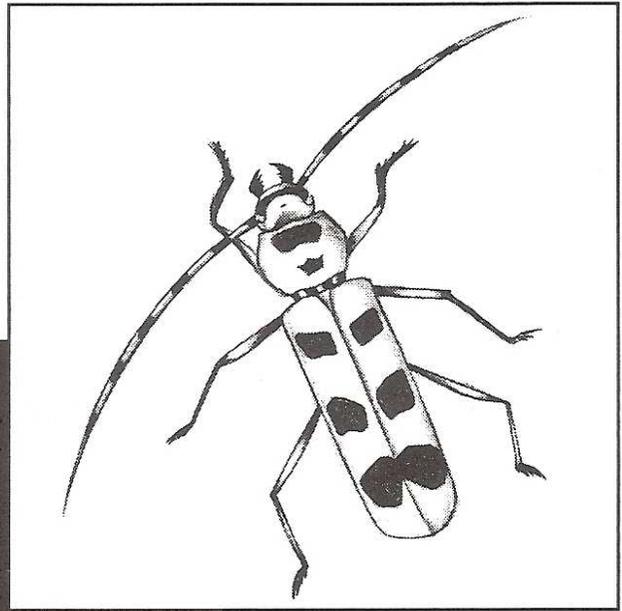


翔

百万石蝶談会 No.170

October 2004



石川県金沢市でアオタテハモドキ採集さる

松 井 正 人

石川県金沢市で、38年ぶりにアオタテハモドキが採集されたので報告する。アオタテハモドキは、九州南部から南西諸島にかけて記録されているが、年間を通じて生息しているのは、八重山諸島のみとされている。

県内で採集されたのは、1965年の珠洲郡内浦町能登小木駅で採集された個体(武藤、1967)に続く2頭目で、今回の採集は38年ぶりの記録となる。



採集直後のアオタテハモドキ(松島 浩氏撮影)

2004年8月16日 石川県金沢市東力 1♀ 松島 浩

本年(2004年)は、7月2日から5日にかけて台風7号が東シナ海から日本海に進み、この時期に、鹿児島県や鳥取県でも本種が発見されている。

2004年7月8日 鹿児島県串木野市下名 1♀ 満留寛喜

2004年7月3日 鳥取県米子市彦名新田 1♂ 桐原佳介

本県への飛来もこの時期にあった事が考えられ、飛来したのが♀で、その時に産卵していたとすれば、今回の採集までほぼ40日間あり、県内での発生が十分考えられる。今回採集されたのが綺麗な個体であることから、発生は十分考えられるが、その後の調査では見つかっていない。

最後に、本個体を採集され筆者に発表を委ねられた松島 浩氏、本個体を生きたまま筆者まで届けていただいた澤田 博氏の両氏に厚くお礼申し上げます。

《 参考文献 》

武藤 明(1967) 石川県で採れた蝶3種. 蝶と蛾 17(1/2):49.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

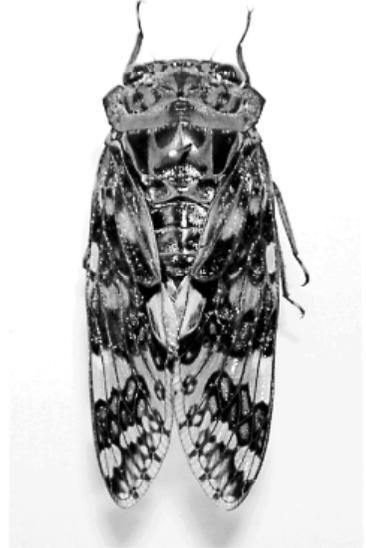
舢倉島で初採集されたニイニイゼミ

日吉 芳朗

能登半島沖50kmに浮かぶ周囲4km程の孤島舢倉島に生息するセミは、これまでツクツクボウシ1種しか知られていなかった(堀、1990;徳本、1995)。ところが、島を良く訪れるバードウォッチャーの渡部良樹氏から、2003年8月にニイニイゼミの声を聞いたと筆者に連絡が入った。そこで、2004年の発生期には、舢倉島分校の生徒や先生に、セミの採集をお願いしておいたところ、同校の南裕治先生が、ニイニイゼミ1頭の採集に至った。

今回の採集は、同島に於けるニイニイゼミの初記録であり、南先生によれば、複数のニイニイゼミが鳴いていたとのことである。

2004年7月22日 輪島市舢倉島 1♂採集 南 裕治



舢倉島で採集されたニイニイゼミ

記録を発表するにあたり、舢倉島の昆虫情報では大変お世話になっている国立市の渡部良樹氏、ニイニイゼミを採集し筆者まで届けていただいた輪島市立上野台中学校舢倉島分校の南裕治先生に厚くお礼申し上げます。

《 参考文献 》

堀 紳二(1990)日本海の島を訪ねて. C I C A D A, 9(4):9-12.

徳本 洋(1995)石川県内セミ分布情報の過去、現在. 翔(112):1-6.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

キアゲハの異常産卵例

生田 省悟

2004年9月3日12時48分、金沢市角間町金沢大学教育学部前の芝生を通りかかったところ、スレたキアゲハ♀が地面すれすれをゆっくりと飛翔。そのうちクローバ葉表面で産卵行動を取った。確認したところ葉上に1卵が産みつけられていた。付近はもとより、その一帯にセリ科植物は見当たらず、明らかに異常産卵と思われる。

所用のため、ゆっくりと観察できなかったが、産卵後も周辺を離れる様子は見られなかった。当該の1卵は持ち帰り、その後の経過を観察することとした。

《いくた しょうご 〒921-8105 金沢市平和町3-22-10》

石川県小松市で大発生したルリボシカミキリ

富 沢 章

2003年の7月上旬に知人のT氏から、「敷地内でルリボシカミキリが採れた」と電話が入った。T氏の自宅は小松市の山間地にあり、キノコを栽培している。付近は、春にはギフチョウが、夏にはカブトムシが採れる自然に恵まれた里山である。当初は移入したキノコの原木から一時的に発生したのだらうと思っていた。しかし、7月17日に、「ルリボシがいっぱいいる」との電話が入って見に行くと、狭い水槽に20頭以上の本種がひしめいていたので、びっくりした。

7月後半になると、家の敷地内ばかりでなく、付近の道沿いのリョウブの花に本種が飛来しているのが見られるようになり、あたり一帯はルリボシだらけとなった。結局、T氏や筆者は、7月末までに40頭余り採集したが、発生した個体は100頭以上と思われた。

発生源は、写真のように、屋根の部分だけ黒いカンレイシャを張ったパイプハウスの中であり、採集個体の大部分はここで得られている。パイプハウス内には、ハンノキとクルミの原木がたくさん積まれており、ルリボシカミキリは、ハンノキの原木から羽脱したものである。このハンノキ原木は、3年前に近くの林から切り出したもので、ナメコ菌を植え、ハウス内に静置しておいたものである。

なお、当地のルリボシカミキリは、2001年と2002年にも数頭づつ採集されているが、今年のような大発生ではなかった。

当地でルリボシカミキリが発生した要因については、以下の事が考えられる。

- (1) 幼虫食入木の人為的な移動による二次発生
- (2) ブナ帯からの単発的な成虫飛来による二次発生
- (3) 低山地への分布拡大

(1)については、T氏が利用している原木は、すべて近隣から採取しているので可能性はない。しかし、近くに幼虫食入木が移入され、そこから当地へ飛来し二次発生した可能性は残されている。(2)については、大型で飛翔力が弱く、個体数の少ない本種が遠方から到達することはあまり考えられない。(3)については、高桑(2000)によって、関東南部における本種のシイ、カシ帯への進出と分布拡大が報告されている。しかし、県内ではこれまでに低標高地における記録は、目撃すらされていないので可能性が低いと思われる。以上のように発生要因は不明だが、その解明のため、2004年以降の発生状況に注目したい。

本種の発生について、いろいろと情報をいただき、何度も応対していただいたT氏に深く感謝する。なお、T氏は発生源が敷地内であり職場でもあることから、公表には消極的であったが、なんとかお願いして発表させていただいた。今後、当地で観察採集される方は、T氏の敷地内には絶対に立ち入らないようお願いする次第である。

■ルリボシカミキリの採集記録

採集地：石川県小松市布橋

(標高60m)

2003年7月 2日 1頭

2003年7月 8日 2頭

2003年7月11日～17日 22頭

2003年7月20日～28日 13頭

(他に20頭以上目撃)

2003年7月30日 3頭



ルリボシカミキリの発生地

《 参考文献 》

高桑正敏 (2000) 南部フォッサマグナ地域におけるルリボシカミキリの分布拡大とその周辺。
月刊むし (353) : 2-17.

《とみさわ あきら 〒923-0911 小松市大川町3丁目 71 》

石川県のクロスキバホウジャクの採集記録

富 沢 章

クロスキバホウジャク *Hemaris affinis* (Bremer) は、これまでに小松市と鶴来町の2カ所から(石川県の昆虫, 1998) 得られているにすぎず、採集記録の少ない種類である。近年、下記のとおり採集されたので報告する。

2003年 6月29日 石川郡白峰村大杉谷 (700m) 1♂ 中西重雄 採集

2002年 8月15日 能美郡辰口町上徳山 1♂ 富沢 章 採集

本種は、名前のとおりハネが透明なスズメガの仲間である。もっぱら昼間活動し、灯火に飛来することはない。上徳山の個体はクサギの花に飛来してきたものであり、吸蜜時は採集が容易となるようである。

最後に標本を提供し、発表を許された中西重雄氏に深く感謝する。

《とみさわ あきら 〒923-0911 小松市大川町3丁目 71 》

2003年アサギマダラ日記

松井正人

■ 5月31日 海岸でアサギマダラの調査

スナビキソウにアサギマダラが飛来していないか、午後から金沢市の専光寺浜へ調査に出かけるが、海岸は暑くてたまらない。これではアサギマダラはいない。

■ 7月6日 1月遅れの産卵調査

6月には出かけることができなかったのので、1月遅れの産卵調査に出かける。金沢や鶴来は雨が降っていたが、トンネルを抜けると白峰は晴れていた。毎年産卵が確認できるイケマからは、多数の食痕を観察したが幼虫は少なかった。

尾口村でも、イケマ、オオカモメヅル両種から多数の食痕を観察したが、幼虫はオオカモメヅルの1頭しか観察できなかった。6月に多数産卵されるが、半月以上生き延びるのは、少ないようだ。

2003年7月6日	石川郡白峰村百合谷	4幼(イケマ)	松井正人
2003年7月6日	石川郡白峰村百合谷	3卵(オオカモメヅル)	松井正人
2003年7月6日	石川郡尾口村一里野	1幼(オオカモメヅル)	松井正人

■ 7月下旬 鉢伏山にアサギマダラがいない

例年なら7月20日過ぎから数多くのアサギマダラが観察できる輪島市の鉢伏山、今年は雨が続きマーキングに出かけられなかったが、24日は晴上がり、マーキングに出かける。ところが、輪島は雲が低く、鉢伏山は雲の中。9時からマーキングを始めるが、アサギマダラがいない。午後からは小雨となり、マーキングは14時半で終了。

天候に恵まれず雨宿りしていたアサギマダラ、天気が回復すれば空かした腹を抱え、ド〜んとヨツバヒヨドリに群れるだろうと考え、天候に恵まれた26日、再度、鉢伏山へ出かける。ところがない。今回は、前回より早めの8時20分から調査を始めたが、アサギマダラがいない。調査は13時で終了。

2003年7月24日	輪島市鉢伏山	4♂2♀マーキング	松井正人
2003年7月26日	輪島市鉢伏山	2♂マーキング	松井正人

■ 8月23日 白山周辺でマーキングポイント探し

8月のマーキングポイントだった白峰村の白山釈迦林道は、一般車が通行できなくなったため、新たなマーキングポイントを探しに出かける。白峰村百合谷など何カ所か回るが、午後から調査した一里野スキー場の奥で、複数のアサギマダラを観察する。道は悪いが、標高1100mのポイントまで車で上がれ、14時半から1時間半で13頭にマーキングできた。

2003年8月23日	石川郡尾口村一里野檜倉	12♂1♀マーキング	松井正人
------------	-------------	------------	------

■ 8月30日 宝達山でマーキング会の準備

9月からのマーキング会の準備に、調査を兼ねて宝達山に出かける。ところが、マーキングポイントの頂上周辺は、寒かった。8時の気温が16度、9時になって17度になったがそれ以上にはならず、1日中17度。長袖のシャツを着ていたが寒くてたまらない。1日中宝達山に居たが、アサギマダラは1頭も観察できず、看板3枚を設置して帰る。

■ 9月7日 宝達山で第1回一般参加の

マーキング会

気温は21度、コンディションは最高だがアサギマダラがいない。それどころか、アカタテハ、ヒメアカタテハなどの蝶も少なく、山の虫全てが少ない感じがした。吉長さん親子5人が参加。

1週間前に設置した看板は、大風にあおられたのか野外に設置した2枚は、破れたり、紐が切れたりして、吹っ飛んでいたもので、急遽補修。

2003年9月7日 羽咋郡押水町宝達山 1♀マーキング 吉長高嶺

■ 9月13日 宝達山で昆虫館友の会のマーキング会 10時~12時

台風14号が能登半島沖を通過し、宝達山の頂上でも大風が吹きフェーン現象で30度を越す猛暑となる。ブナの大木も大きく波打ち、枯れ葉が小擦れ合いザワザワと鳴っていた。アサギマダラは、ブナ林内の林床にたまっているものが多く、クルマバハグマ、モミジハグマで吸蜜していた。猛暑大風にもめげず、4家族16人が参加。



2003年9月13日 羽咋郡押水町宝達山 23♂13♀マーキング 昆虫館友の会

旅をする蝶アサギマダラ



9月頃になると、この辺りでは、渡り鳥のように「渡り」をするアサギマダラという蝶が、たくさん見られます。

この蝶の羽に印(マーク)を付けて、どこからどこへ飛ぶのかを調べるマーキング調査が、日本各地で行われていて、遠くは台湾まで渡りをしていることが分かってきました。

宝達山でマークしたアサギマダラは、京都、三重、徳島、鹿児島、沖縄などで見つかっています。

詳しいことは、山の龍宮城におたすねください

◆アサギマダラの渡りは、全国組織で調べています◆

◆日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト

.....

◆アサギネット(藤井 恒)

.....

◆百万石蝶談会(船井正人)

.....

■ 9月15日 宝達山で第2回一般参加のマーキング会

午前中は雲の中だった宝達山、午後から晴れ上がりアサギマダラも飛び出した。宝達山の雲が取れたことで、一般参加者も午後から集まりだした。この日、山前圭佑さんがマーキングした1頭が、三重県で再捕獲された。

2003年9月15日 羽咋郡押水町宝達山 3♂2♀1頭マーキング 一般参加者

マーク内容 : 03.09.15 宝だつ 圭佑	→	直線移動距離 : 約340km
標識者 山前 圭佑		再捕獲者 児嶋 毅
標識地 石川県押水町宝達山		再捕獲地 三重県御浜町横垣峠
標識日 2003年9月15日		再捕獲日 2003年10月10日

■ 9月17日 宝達山で宝達小学校のマーキング会 8時半~11時

7時半、宝達山には多数のアサギが飛び交い、大量飛来が始まっているようだ。小学校のマーキング会と重なり最高である。8時半にスタートしたが、アサギマダラは次から次へと飛んでくる。最初は、車道に飛来するアサギマダラを待ち受



けていた子供達だが、そのうち我慢できずに、足場の悪い林の中にドンドン入っていった。

6年生の上本秀太君が、滋賀県から飛来した「XX159BV」を再捕獲して、大いに盛り上がる。滋賀県からの飛来は、この時期逆方向となるが、数日前に能登半島沖を通過した台風14号に、吹き飛ばされたい。

2003年9月17日 羽咋郡押水町宝達山 131頭マーキング 宝達小学校生徒

マーク内容 : XX159BV	→	直線移動距離 : 約200km	性別 : ♂
標識者 金田 忍		再捕獲者 宝達小学校6年 上本秀太	
標識場所 滋賀県大津市びわ湖パレー		再捕獲地 石川県押水町宝達山	
標識日時 2003年8月2日 14:30頃		再捕獲日時 2003年9月17日 9:50頃	

■ 9月17日 午後は特異日

マーキング会は午前中で終了し、午後は1人でマーキングを続ける。アサギマダラは、どんどん飛来しているようで、子供達がマーキングしたアサギマダラの再捕獲は無い。快調にマーキングを続けていると、岐阜県から飛来した個体を再捕獲する。宝達山で長年マーキングしているが、他地域から飛来した個体の再捕獲は、これまで数年に1頭有るか無いかの状態だったので、1日に2頭とはいささかビックリした。岐阜県からの飛来も、台風

年に宝達山でマーキングされたアサギマダラのうち、5頭が日本各地で再捕獲されているが、その4頭までが、この日の12時52分～14時28分の96分間にマーキングされたものであった。この年は8月16日から9月28日にかけて宝達山で431頭にマーキングされているが、なぜ、この時間帯に集中したのか不思議でならない。良い風が吹いたのだろうか。

2003年9月17日 羽咋郡押水町宝達山 131頭マーキング 松井正人

マーク内容：M. I 25 8/30 HIW	直線移動距離：約110km	性別：♂
標識者 犬嶋 満	→ 再捕獲者 松井 正人	
標識地 岐阜県高根村日和田高原	再捕獲地 石川県押水町宝達山	
標識日 2003年8月30日	再捕獲日 2003年9月17日	

マーク内容：I MM 130 ほうだつ	直線移動距離：約1140km	性別：♂
標識者 松井 正人	→ 再捕獲者 福島 誠	
標識地 石川県押水町宝達山	再捕獲地 鹿児島県大島郡喜界町滝川林道	
標識日 2003年9月17日	再捕獲日 2003年11月1日	

マーク内容：I MM 157 ほうだつ	直線移動距離：約380km	性別：♂
標識者 松井 正人	→ 再捕獲者 児嶋 毅	
標識地 石川県押水町宝達山	再捕獲地 和歌山県西牟婁郡串本町潮岬	
標識日 2003年9月17日	再捕獲日 2003年11月7日	

マーク内容：I MM 158 ほうだつ	直線移動距離：約230km	性別：♂
標識者 松井 正人	→ 再捕獲者 榊原 君江	
標識地 石川県押水町宝達山	再捕獲地 愛知県南知多町山海	
標識日 2003年9月17日	再捕獲日 2003年10月20日	

マーク内容：I MM 171 ほうだつ	直線移動距離：約360km	性別：♂
標識者 松井 正人	→ 再捕獲者 藤井 恒	
標識地 石川県押水町宝達山	再捕獲地 和歌山県日高町西山	
標識日 2003年9月17日	再捕獲日 2003年10月10日	

■ 9月23日 第3回一般参加のマーキング会

宝達山は寒くなった。日中の気温は17度が最高で、これ以上は上がらなかった。そのせいか、アサギマダラもほとんど飛ばなかったが、羽化直後の様に羽が柔らかい2♀が観察された。今日は3家族12人が参加。

2003年9月23日 羽咋郡押水町宝達山 4頭マーキング 一般参加者

■ 9月28日 第4回一般参加のマーキング会

天気は上々、最高気温は17度のコンディションだったが、時期が遅くアサギマダラは移動してしまったためか益々少なくなって、目撃だけに終わる。13時には土砂降りとなり、今年のマーキング会は、これで終了となった。宝達小学校生徒の家族を含む2家族9人が参加。

2003年9月28日 羽咋郡押水町宝達山 2頭目撃 一般参加者

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

毎日が虫採りおじさん

日吉氏、七月の採集行が二十三回、八月は十六日まで十五回と、ほぼ毎日採集に出かけている。夏の暑い盛りは採集行から遠のくものだが、この誰も採集に出ない時期に採集に出ると、思わぬものが見付かる事がある。かつてムモンアカシジミが再発見されたのも、このころだった。

毎日が餌採りおじさん

細沼氏、八月初めに採集したクロコムラが産卵し、現在飼育地獄に見舞われている。越冬幼虫に成ると思いこんでいたが、年内に羽化するよう、まるまる太った幼虫がバリバリと音を立てて餌を食べ尽くし、補充に追われている。

密かに蔓延するナナフシ風邪

奄美のコブナナや西表のツダナナなどの採集に思いを馳せ、トゲナナの観察には余念がない。あの体型、あの生態とやかましい。いつの間にか

虜になってしまったMとA。この風邪、ゲンゴロウ風邪のように蔓延するのだろうか。

アオタテハモドキが孵化

三十八年ぶりのアオタテハモドキ、こんなチャンスは二度と無いと、採卵に挑戦したまでは良かったが、産まない。虫メガネで食草を隅々まで見ても産んでない。ある日、キラリと光るものがあり、虫メガネで見ると卵だった。そして、その後ろには、既に幼虫が。やっぱり老眼鏡が必要か。

熊に見張られ身動きできず

日吉、石畑の輪島コンビは、キベリやエルを狙って、奥飛騨、乗鞍方面へ。安房平の見渡す限りのアサギマダラとか、安房峠で熊に見張られ車から降りられなかったとか、楽しい話が伝わってきた。

国土地理院の地図閲覧サービス

インターネット上で二万五千分の一の地形図が閲覧できるが、以前は地図が古かったり印

刷できなかつたりと使えなかったが、今は使い勝手が改善された。紙地図の販売場所や購入方法等も掲載されている。

宝達山に入り浸り

松井氏、アサギマダラのマーキングシーズンに入ってから、宝達山に入り浸り。今年は気温の高い日が続く、アサギの飛来も好調でマーキング会も盛況とか。多数の再捕獲が期待されている。

アサギマダラのお姉さん

宝達山の「山の龍宮城」で、「マーキングしませんか」と声をかけられた。振り向けば、往年のタカラジエンヌを思わせるお姉さんが、微笑んだ。山の龍宮城では、期間限定でアサギのマーキングが体験でき、再捕獲されれば、連絡ももらえる。

真夏に材内アオマダラタマムシ

タマムシの魅力に取り付かれた浅地氏、大物アオマダラの材を採集してきたが、来春

まで待てず、材を割ってみると、なんと成虫。ラッキーと喜んでいますが、この時期になぜ材内成虫なのか。

例会の記録

八月五日(木)城南管工一階にて、午後八時から開催。

今回は、「福井の大洪水と昆虫採集」について、山岸氏の実話。北海道で虫採りしてニマリしている時に、福井では大雨が降り、堤防が切れたらひとたまりも無いと奥さんから緊急電話が入ったとか。そこで氏は、・・・

その他の話題は、石徹白のチャマダラとオオウラギン、赤兎登山口のエル、今年のヤマゴマは大きくて青い、オオギンヤンマとウスイロコノマが大漁の年、能登のトゲナナフシ、落ち葉にスプレー式殺虫剤、などなど。

参加は、中西、浅地、生田耕、久慈、竹谷、松井、山岸、井村、吉村の九人。

【表紙デザイン：小幡英典】
【表紙イラスト：坂原 圭】

会員の動き・しゃばの動き

ヘグラニイニイ採集さる
輪島沖五十キロの日本海に
浮かぶ孤島、舳倉島でニイニ
イゼミが初確認された。情報
源の鳥屋さん、採集者の分校
の先生、両者を取り持った日
吉氏、三者の連携が初記録に
結びついた。調査しづらい場
所の調査は、このように取り
組むべきであろう。

念願のアカコムラに有頂天
日吉氏、輪島の定点調査地
でアカコムラを採集し、万歳
三唱。輪島のアカは超珍品、
昆虫人生三十五年の末、よう
やく採集にこぎ着けた。世間
とは全く逆の、こんな場所も
有るのです。

キゴ山サマーチャレンジスクール
澤田、松井の啓蒙コンビ、
昆虫採集の楽しさ、奥の深さ

を体験してもらおうと、夏休
み中の小学生と中学生を相手
に、一泊二日の虫採りをした。
子供達は、アサギマダラの
マーキングに手を震わせ、オ
オムラサキの飛来や陸棲ホタ
ルの光に歓声を上げた。

輪島でもたもウスイロコノマ
昨年引き続き、今年も輪
島でウスイロコノマが採れ
た。定点調査を続けている日
吉氏、昨年と同じ場所、ほ
ぼ同時期に観察したが、いつ
頃どのような経路で輪島に侵
入するのだろうか。

里山の自然環境調査報告書
いしかわ動物園が、動物園
周辺で、三年がかりの動植物
調査を実施し、報告書を作成
した。調査地は、標高百二十
メートル以下の丘陵地に広が

る里山で、昆虫は八百六十七
種、植物は四百九十種、キノ
コは三百七十五種がリスト
アップされている。正式名称
は、「体験学習・自然観察方
イド（いしかわ動物園周辺自
然環境調査報告書）」。

アオタテハモドキ県内で発生か
八月十六日、金沢でアオタ
テハモドキが採集された。今
年は、七月に米子と串木野で
も採れている。ひよつとす
と、その時に飛来したものが
産卵し、二次発生したのかも
しれないが、追加記録はない。

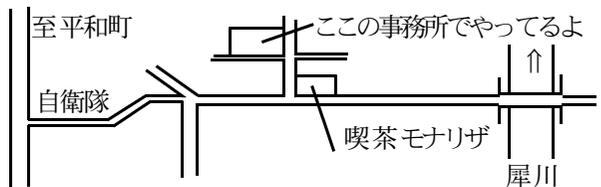
韓国と北海道でマーキング
台湾を含む広い範囲で渡り
をすることが確認されている
アサギマダラ、今年は、韓国
や北海道でもマーキングされ
ている。北海道のアサギは希
な事もある採集されていた
が、今年は函館で多数マーキ
ングされた。韓国の「MJ」
マーク、北海道の「ハコダテ」
マーク、いったい何処で再捕
獲されるのか。

翔 170号

Tobu 2004年10月10日発行
百万石蝶談会

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (170号)

松井正人：石川県金沢市でアオタテハモドキ採集さる	1
日吉芳朗：舩倉島で初採集されたニイニイゼミ	2
生田省悟：キアゲハの異常産卵例	2
富沢 章：石川県小松市で大発生したルリボシカミキリ	3
富沢 章：石川県のクロスキバホウジャクの採集記録	4
松井正人：2003年アサギマダラ日記	5
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	10